

## （件名）上海伊勢丹百貨による日本自治体魅力発信コーナーの開設

### （1）概要

上海伊勢丹百貨店が日本各自治体の魅力を発信するコーナー「FIND JAPAN」を設置しました。期間は10月1日から来年3月末までの半年間の予定です。北海道をはじめ、石川県、大分県など、上海に拠点を持つ11自治体が参加し、それぞれ1ブースを設置しています。

このコーナーの特徴は、サンプルの展示やパンフレットの配布にとどまらず、正規に輸入手続を行った商品の販売を行うことであり、日本各地の特色を感じながら、商品を比較できる売場として、伊勢丹が抱える上海でも購買力の高い層の顧客を対象としたテスト販売の効果も期待できると考えています。今後、出展した商品を取りまとめた福袋の販売や伊勢丹のサイトでのオンライン販売なども順次実施される予定です。

なお、商品の販売や配布物の補充等は、伊勢丹の店員が常駐で対応しています。



### （2）北海道ブースについて

北海道ブースは、当事務所で、伊勢丹側の意向を踏まえて現地商社と連携し、出品する商品を調整しました。今後、季節毎のテーマに応じて商品を定期的に入れ替え、道産品の様々な魅力をPRしていく予定です。10月のテーマは、「お弁当」と「道産酒」で、道内で製造されたカラフルなお弁当箱と各種タレや調味料に加えて日本酒などを販売しています。これまでのところ、タレの売上が比較的好調です。

また、北海道の食や観光、アイヌ文化の魅力を発信する映像の放映、パンフレットの配布なども行っています。

当事務所にとって、集客施設の中に北海道の長期プロモーションを行う場を開設することは、新型コロナウイルスの感染拡大後では初であり、今後、伊勢丹の協力をいただきながら、輸入道産品の販売促進と北海道の魅力発信を継続的に進めてまいります。



観光・ウポポイのパンフを配布



裏のエスカレーター側からも道産品輸出シボルマークをPR



北海道ブースの全景